

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 環境農政局水・緑部水産課
要望問題 東京湾におけるタチウオ資源の把握について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 東京湾においてタチウオは小型底びき網、定置網、遊漁等で漁獲されているが、特に小型底びき網においては近年主要魚種の1つとなっている。 しかし、東京湾におけるタチウオ資源については、どこで産卵が行われ、成長とともにどのように移動し、漁獲されているのかなどが明らかになっていない。 漁獲量は不安定であり、高い依存度が続くことによる漁獲量の減少が懸念されるため、資源動向に関する調査をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 複合的資源管理型漁業推進対策事業			
対応の内容等 東京湾におけるタチウオ資源の重要性が増していることは、小型底びき網漁業での漁獲量の推移や標本船調査からも明らかであり、資源動向の把握は重要な課題と考えております。 そこで、既存の小型底びき網漁船の標本船調査や漁獲量のデータから、漁獲実態の把握と整理を進めると共に、漁獲動向のモニターを続けたいと考えます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			